

熱く振るって青春

四国中央で書道甲子園

第12回全国高校書道パフォー
マンズ選手権大会(書
道)パフォーマンズ甲子園、

6度目の出場で初の栄冠を

実行委員会主催)が4日、四国中央市中之庄町の伊予三島運動公園体育館であり、松本蟻ヶ崎高(長野県)が初優勝に輝いた。愛媛勢で唯一出場した西条高は入賞を逃した。

今大会は106校がエントリーし、予選を通過した16都府県の20校が本戦に出場。縦4枚、横6枚の紙に、1校12人以内のチームが熱い思いを揮毫(きごう)した。豪快な筆さばきや息もぴったりの動きのほか、影絵や紙を突き破るなど凝った演出も多く、延べ約6500人(主催者発表)の観客から盛んな拍手を浴びていた。

松本蟻ヶ崎高は5年連続

長野の松本蟻ヶ崎が初優勝

手にした。スマートフォン

大王海運(株)

代表取締役CEO 岩井本恵
代表取締役社長 曾我部雅司

紙製品・一般貨物から自動車・コンテナ輸送まで幅広い物流サービスを提供します
愛媛県四国中央市三島紙屋町7番35号 TEL (0896) 24-9200
東京都千代田区富士見二丁目2番5号 TEL (03) 3261-6728
(営業所) 仙台、千葉、大阪、岡山、博多、沖縄、上海

て思いを伝えることの大切さを強調。部長の3年松岡実優さん(18)は「ずっと優勝を目指して練習してきた



「困難を乗り越える」をテーマに力強い書道パフォー
マンズを見せる西条高=4日午前、四国中央市中之
庄町の伊予三島運動公園体育館



書の技術が評価されて優勝した松本蟻ヶ崎高の作品

ので、とてもうれしい。勝てたのは周囲の支えがあった(こそ)と満面の笑みを見せた。

西条高は「真勇」と力強く揮毫し、自分を信じて苦悩を乗り越える気持ちを作品に込めた。部長の2年竹中和奏さん(16)は「7人と他校に比べ少ないメンバーだったが、全員で全力のパフォーマンズができたので悔いはない」と話した。

3連覇を目指した八幡中央高(福岡)は2位、3位は高松商業高(香川)だった。(西尾寛昭)

書道パフォーマンズ甲子園の様子は、愛媛新聞の取材班がツイッターで詳しく紹介しています。アカウントは@ehime_np_shodoです。